

『低 BMI の糖尿病患者において、脆弱性骨折の有無による食事量等の評価』

《対象者》

長浜赤十字病院にて外来通院または入院中の BMI20 以下の糖尿病患者で、2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日の間に長浜赤十字病院を受診した患者。

【調査協力のお願い】

当院では『低 BMI の糖尿病患者において、脆弱性骨折の有無による食事量等の評価』に、2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日の期間に受診された上記対象患者さんについて、以下のとおり調査を行います。この調査は対象患者さんの臨床情報を調査する研究で、患者さん個人から直接の同意はいただかず、調査実施に関するポスター、インターネットへの掲示によるお知らせを持って研究に同意をいただいたものとします。皆さま方におかれましては、本研究・調査の主旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本研究・調査への参加を希望されない場合や研究調査に関するご質問等は下記の問い合わせ先までご連絡をお願い申し上げます。

(1) 調査の概要

研究の題名 : 低 BMI の糖尿病患者において、脆弱性骨折の有無による食事量等の評価

対象病名 : 糖尿病

情報収集期間 : 2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日

研究期間 : 承認日～2025 年 11 月

研究責任者 : 管理栄養士 弓矢なづな

(2) 調査の意義・目的

近年、痩せに関連した健康障害を予防しようとする動きがある中で、糖尿病に対しては食事制限といった印象が根強く残っており、痩せや低栄養を助長するのではないかと考える。栄養食事指導においても、食事制限を強調した指導はそれらのリスクを高めるのではないかと考えた。そこで、糖尿病患者で脆弱性骨折の既往がある者とない者について摂取栄養量や栄養食事指導の指導歴、糖尿病の家族歴などを調査・比較し、今後の栄養食事指導のあり方について検討を行うことを目的とする。

(3) 調査の方法

栄養食事指導にて 24 時間食事思い出し法を用いて前日、もしくはある 24 時間の食事内容を収集し、エネルギー量・たんぱく質量などを算出。その他、体重変動や糖尿病の家族歴、運動習慣、食事に対する意識なども聞き取りを行う。対象者を脆弱性骨折の既往の有無にて 2 群に分け、それぞれの項目において 2 群で差があるのかについて調査を行う。

(4) 利益・不利益に関して

本研究においての利益・不利益はありません。

(5) 個人情報保護について

データに関しては院内専用のパソコン内のフォルダで管理します。また、書類に関しては厳重に管理し、学会報告後に破棄します。

(6) 調査結果報告について

第 69 回日本糖尿病学会年次学術集会にて報告する予定です。

(7) その他

(8) 問い合わせ等連絡先

- ・長浜赤十字病院 医療技術部 栄養課 弓矢なづな
- 住所：〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14番7号
電話：0749-63-2111 FAX：0749-63-2119